

令和8年度 西箕輪中学校 学校だより



剛健質実

令和8年
6月24日(水)
第3号

文責
宮原 祐史

運動部 中体連南信大会 壮行会・結果報告

6月6日(土)を皮切りに、運動部の南信大会が行われました。それに先立ち、6月4日(木)には壮行会が行われ、全校生徒が思いを込めて選手を応援しました。今年度の壮行会は2つの新たな取り組みがありました。1つ目は、部活動だけでなくクラブチーム等に所属している生徒も応援する形にしたこと、2つ目は応援歌「高原」の復活です。時代に沿った新たな壮行会の形の中、応援団をはじめ全校生徒の力強い応援と吹奏楽部による演奏が選手を力強く後押ししてくれました。





中体連の大会結果（6月23日現在）

野 球 部	1 回戦	対 茅野東部・北部中・・・	負 2 - 5	
男子バスケ部	1 回戦	対 諏訪中・・・	負 33 - 49	
女子バスケ部	1 回戦	対 茅野東部・北部中・・・	勝 70 - 19	
	2 回戦	対 叶 Luminous・・・	勝 73 - 29	
	準決勝	対 松川中・・・	勝 65 - 32	
	決 勝	対 駒ヶ根 B C・・・	勝 51 - 41	
			優勝！	※県大会出場
女子バレー部	① 対	高陵中・・・	負 0 - 2	
	② 対	岡谷南部・下諏訪中・・・	負 1 - 2	
陸 上	1 年男子 100m	予選 1 位で決勝レースへ		
剣 道	1 年生男子 個人戦	1 回戦		
	1 年生男子 個人戦	1 回戦		
	1 年生女子 個人戦	2 回戦		
	1 年生女子 個人戦	1 回戦		
	(上伊那クラブ) 団体戦	優勝！	※県大会出場	
バドミントン (伊那イースト BC チームで出場)	2 年生女子 ダブルス	3 回戦		
		団体戦	3 位	※県大会出場
	2 年生男子 シングルス	1 回戦		
		団体戦	6 位	※県大会出場
新体操	2 年生女子 7/4	東南信大会		
水 泳	3 年生男子			
	男子 100m 平泳ぎ	【3 位】	※県大会出場	
	男子 200m 平泳ぎ	【4 位】	※県大会出場	
	2 年生女子			
	女子 50m 自由形	【15 位】	※県大会出場	
	女子 100m 背泳ぎ	【10 位】	※県大会出場	
	1 年生女子			
	女子 50m 自由形	【8 位】	※県大会出場	
	女子 100m 自由形	【6 位】	※県大会出場	

3学年 進路講話

3学年では進路に関する学習も進めています。6月1日（月）には、高遠高校、駒ヶ根工業高校、伊那西高校、つくば開成学園高校の先生方から、各高校の特色や期待する人物像などについてお話をお聞きできました。卒業生が参加してくださった学校もあり、先輩から直接高校の様子を聞くこともできました。

今年は、4校の中から興味のある高校2つを選び、それぞれの会場へ行って話をお聞きする形式で行いました。少人数だったので、分からないことを直接お聞きすることもでき、高校が少し身近に感じられたことと思います。

第2回目は、7月13日（月）に行われる予定です。



生徒の声（進路講話から学んだこと）

- ・各高校の特徴や魅力、その高校でしかできない事などを、高校の先生方や僕たちの先輩たちが教えてくれたおかげで知ることができました。高校だけでなく、それから先の進学、就職などの事についても分かったので、今日のことをしっかり考えて高校を決めたいし、勉強する科などを決めていきたいです。
- ・酒井先生が高校の先輩に「中学生の間にやっていて高校に繋がったこと」と「もっとやっておいた方が良かったこと」を質問してくださいました。その質問に対して伊那西高校の先輩が「何事にも TRY することを心がけていたおかげで、高校でも挑戦できるようになった。」と答えてくれました。

充実の総合的な学習の時間

6月12日（金）の総合的な学習の時間では、1年生の東組が「大正琴」、西組が「地域の歴史・文化・食」について学習をしました。また、2年生は「ソルガム栽培」、3年生は「伊那支援学校との交流」などそれぞれの学年で大きな活動がありました。総合的な学習の時間ならではの活動に、生徒たちは普段とはまた違った表情で生き生きと取り組んでいました。3年生は毎年恒例の伊那支援学校との交流で、ゲームをしたりダンスをしたりと盛り上がっていました。今回は伊那支援学校のみなさんが主催側でしたが、次回の交流は西箕輪中学校が主催となります。今回の学びを生かし、よりお互いの心が通い合う素敵な交流会にしたいですね。



知識集め解答導く学び



中学生を前に講義する渡邊准教授と生徒たち

話題
キャッチ

信大農学部構内で特別講義

伊那市西箕輪中学校の2年生70人が12日、近くの信州大学農学部（南箕輪村）を訪れ、特別講義を受けた。西箕輪上戸地区でソルガムの試験栽培に取り組む渡邊准教授の講義と学生の研究発表を聴講し、答えのない問題に向き合い、知識を集めて自ら解答を導き出していく大学の学びに触れた。

（唐沢宏）

総合的な学習で試験栽培に参加
特別講義は今年度、信大農学部が上戸地区でソルガム

の試験栽培を始めたのがきっかけ。遊休農地の提供に關わった上戸環境保全会の鈴

活動を紹介したところ、2年生が総合的な学習でソルガム栽培に参加することになり、大学構内での特別講義が実現した。

学校から約2キロを歩いて訪れた生徒たちは、学生たちとあいさつを交わしながら、講義室へ。全員で渡邊准教授の講義を聴講し、植物の原理やソルガムの特性、試験栽培の目的に理解を深めた。続いて、試験栽培で品種や植栽密度、追肥の違いに着目した育成実験に取り組み、同大4年の松田有信さん（22）が、研究の背景や目的、概要について解説した。

西箕輪中の2年生70人

専門用語が次々内容に興味津々
講義では「C4型光合成」「独立栄養生物」「乱塊法」「三反復」など植物や実験に関する専門用語が次々登場したが、科学的な裏付けに基づいて地域の課題を解決しようとする講義内容に、生徒たちは興味津々。渡邊准教授は「植物は太

渡邊准教授の「ソルガム」聴講

陽の光と二酸化炭素で自分の食べ物を作るすごい生き物。深く知れば勉強してここにきてください」と語り掛けた。

講義を聞いた田村八尋さん（13）は「同じ考えを持った仲間と研究できる大学は案外そう。中学では答えのあるものを教えてもらっているけど、未知のものを解明しよう」と研究する大学の学びが魅力的でした」と話していた。

地域の遊休農地対策へ3者連携
ソルガムはアフリカ原産のイネ科の1年草で、世界五大穀物の一つ。食べることもできるし、飼料やキノコ栽培にも活用できる。高温や乾燥に強く、機械で効率的に収穫できることから、栽培の見通しが立てば、高齢化や担い手不足で耕作放棄地が増える中山間地の課題解決に役立つ。

今後は上戸環境保全会、信大農学部、西箕輪中が連携して、ソルガム栽培を通じた地域の遊休農地対策に取り組むという。収穫は10、11月の見通し。

●○●今後の主な予定●○●

6 / 29（月） 期末テスト・実力テスト
30（火） 期末テスト・実力テスト
7 / 3（金） 教育相談①（～14日）
4（土） 授業参観② お弁当の日
PTA懇親運動 懇親会
6（月） 振替休業日
7（火） 1年性教育講演会
8（水） 生徒会 支部生徒会
9（木） 支部懇談会
10（金） 漢字検定
11（土） 県中学総体（～20）

13（月） 3年進路講話②
15（水） 西駒登山①
16（木） 西駒登山②
20（月） 海の日
21（火） 3年性教育講演会
22（水） 生徒会委員会
23（木） 1学期終業式
24（金） 夏季休業（～8/24）
支部奉仕作業
26（日） 吹奏楽コンクール南信A
27（月） 3年保護者懇談会（～31）